

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	障害者計画・障害福祉計画策定事業			会計	款	項目	大	小
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	豊田 武彦				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	障害者	意図	計画策定により、各施策、事業の計画的且つ効率的な執行を図る。
事業内容	障害者総合支援法に基づくサービス量を見込む次期「第5期障害福祉計画」・「第1期障害児福祉計画」（平成30年度～平成32年度）を策定するため、障害者のサービス支給量や生活志向の意識を把握するため、アンケート調査を実施し計画に反映させる。			
事業開始から現在までの状況変化	計画期間（策定年度） 「第5期障害福祉計画」・「第1期障害児福祉計画」 平成30年度～平成32年度（平成28年度～平成29年度の次期計画策定）			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	審議会審議回数	15		0	回	→→	
②	アンケート対象者			1,000	人	→→		
③	アンケート回答数			604	人	↑↑↑		
④	アンケート回収率			60.40	%	↑↑↑	アンケート回答数/アンケート対象者	
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） アンケート実施結果を持って、平成29年度には、福祉施策審議会に諮問し、答申を得、計画に反映する。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,884,880		2,602,316				
事業費(b)(円)		1,193,880		1,229,316				
うち一般財源		1,193,880		1,229,316				
職員給与費(c)(円)		691,000		1,373,000				
人役・職員(人)		0.10		0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	新規事務事業により記載なし	③取組の課題	多くの方々からの意見を集約する必要があることから、計画的に業務を遂行する必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	新規事務事業により記載なし	④今後の改善計画	計画策定にあたっては、計画策定がスムーズに行えるようスケジュール管理を行っていく。